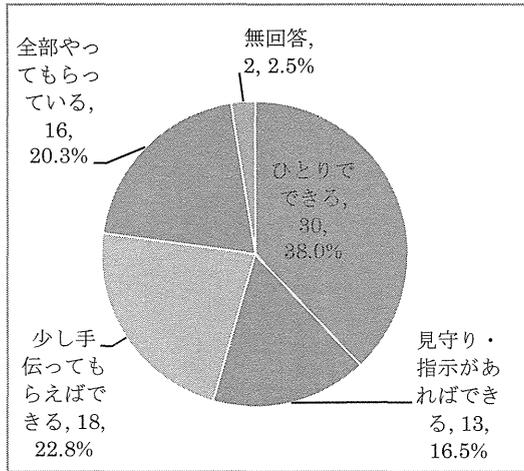
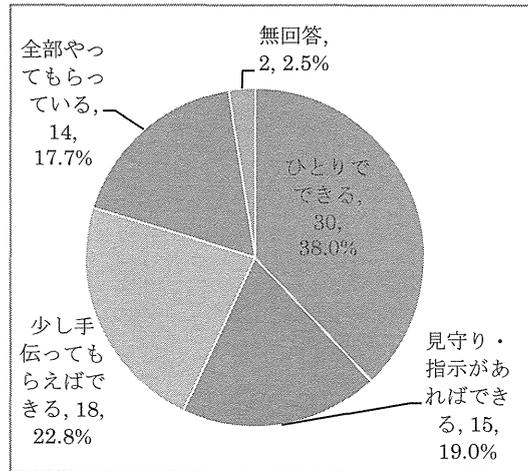


図 3 7 移動・交通機関の利用  
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



② 住宅内の移動

相談支援事業利用開始時では、ひとりで行けるが 61 名 (77.2%)、見守り・指示があればできるが 8 名 (10.1%)、少し手伝ってもらえればできるが 2 名 (2.5%)、全部やってもらっているが 6 名 (7.6%) であった。

一方、現在では、ひとりで行けるが 60 名 (75.9%)、見守り・指示があればできるが 9 名 (11.4%)、少し手伝ってもらえればできるが 3 名 (3.8%)、全部やってもらっているが 5 名 (6.3%) であった。

このように、住宅内の移動に関して相談支援事業利用開始時と現在とで大きな傾向の違いは見られなかった。

表 3 8 住宅内の移動

(相談支援事業利用開始時)

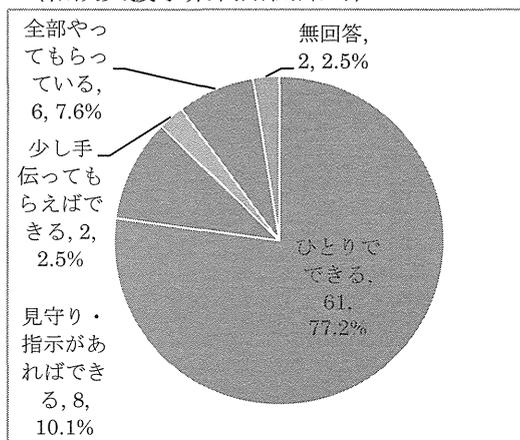
	度数	パーセント
ひとりで行ける	61	77.2
見守り・指示があればできる	8	10.1
少し手伝ってもらえればできる	2	2.5
全部やってもらっている	6	7.6
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

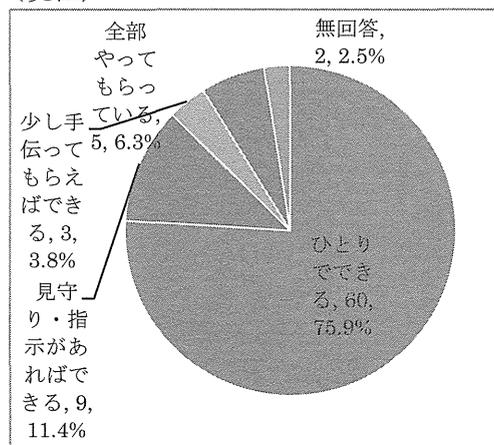
	度数	パーセント
ひとりで行ける	60	75.9
見守り・指示があればできる	9	11.4
少し手伝ってもらえればできる	3	3.8
全部やってもらっている	5	6.3
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図 3 8 住宅内の移動

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



### 7) 全体の生活から見た自立度

相談支援事業利用開始時と現在との全体から見た自立度について、自立した生活を比較したところ、改善が見られる傾向にあった。

#### ① 自立した生活

相談支援事業利用開始時では、ひとりのできるが 61 名 (77.2%)、見守り・指示があればできるが 8 名 (10.1%)、少し手伝ってもらえればできるが 2 名 (2.5%)、全部やってもらっているが 6 名 (7.6%) であった。

一方、現在では、ひとりのできるが 60 名 (75.9%)、見守り・指示があればできるが 9 名 (11.4%)、少し手伝ってもらえればできるが 3 名 (3.8%)、全部やってもらっているが 5 名 (6.3%) であった。

このように、住宅内の移動に関して相談支援事業利用開始時と現在とで改善が見られる傾向にあった。

表 3 9 自立した生活

(相談支援事業利用開始時)

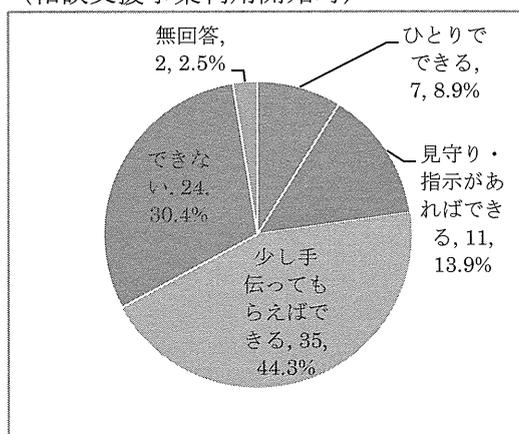
	度数	パーセント
ひとりできる	7	8.9
見守り・指示があればできる	11	13.9
少し手伝ってもらえればできる	35	44.3
できない	24	30.4
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

(現在)

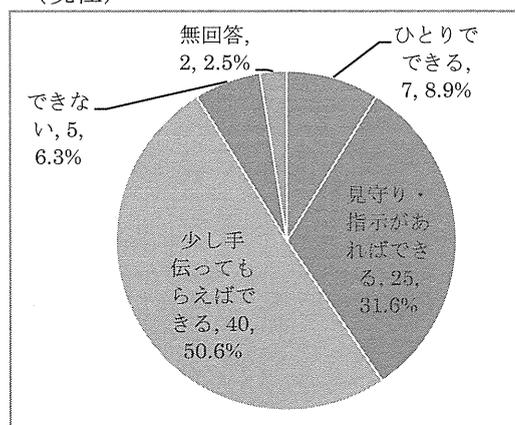
	度数	パーセント
ひとりできる	7	8.9
見守り・指示があればできる	25	31.6
少し手伝ってもらえればできる	40	50.6
できない	5	6.3
無回答	2	2.5
合計	79	100.0

図39 自立した生活

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



#### (4) 相談支援事業利用開始時と現在との利用者の状態について（障害別）

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の状態の違いについて障害種別に比較をしたところ、相談支援事業利用開始時ではADLでは身体障害がある利用者に、心理・精神面や周囲との関係面では精神障害がある利用者に、経済生活・経済環境では知的障害がある利用者にそれぞれ支援が必要とされる傾向にあった。

一方、現在では心理・精神面、周囲との関係面、全体の生活から見た自立度に障害種別を問わず全体的に、健康管理については知的障害のある利用者と精神障害のある利用者に、経済生活・経済環境については知的障害のある利用者に改善が見られる傾向にあった。

なお、比較に際しては障害種別による状態の違いを明確にするため、重複障害を対象から除外した。また、発達障害は障害者自立支援法の区分けに基づいて精神障害に含めることとした。

##### 1) ADL

相談支援事業利用開始時と現在との利用者のADLについて、障害種別で見たところ、相談支援事業利用開始時、現在ともに精神障害のある利用者は他の障害のある利用者に比べてひとりでできるとされる傾向にあり、身体障害のある利用者は全部やってもらっているとされる傾向にあった。

##### ① 身辺処理に関して

相談支援事業利用開始時では、精神障害のある利用者は他の障害のある利用者に比べてひとりでできるとされる傾向にあり、身体障害のある利用者は全部やってもらっているとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 4 0 身辺処理に関して  
(相談支援事業利用開始時)

			身辺処理に関して				合計
			ひとりのできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえればできる	全部やってもらっている	
障害種別	身体障害	度数	3	0	4	3	10
		障害種別の %	30.0%	0.0%	40.0%	30.0%	100.0%
	知的障害	度数	8	4	6	1	19
		障害種別の %	42.1%	21.1%	31.6%	5.3%	100.0%
	精神障害	度数	7	4	3	0	14
		障害種別の %	50.0%	28.6%	21.4%	0.0%	100.0%
合計		度数	18	8	13	4	43
		障害種別の %	41.9%	18.6%	30.2%	9.3%	100.0%

(現在)

			身辺処理に関して				合計
			ひとりのできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえればできる	全部やってもらっている	
障害種別	身体障害	度数	2	2	3	3	10
		障害種別の %	20.0%	20.0%	30.0%	30.0%	100.0%
	知的障害	度数	9	4	5	1	19
		障害種別の %	47.4%	21.1%	26.3%	5.3%	100.0%
	精神障害	度数	9	4	1	0	14
		障害種別の %	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%	100.0%
合計		度数	20	10	9	4	43
		障害種別の %	46.5%	23.3%	20.9%	9.3%	100.0%

② 食事に関して

相談支援事業利用開始時では、知的障害のある利用者や精神障害のある利用者は他の障害のある利用者比べてひとりのできるとされる傾向にあり、身体障害のある利用者は全部やってもらっているとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 4 1 食事に関して  
(相談支援事業利用開始時)

			食事に関して				合計
			ひとりのできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえればできる	全部やってもらっている	
障害種別	身体障害	度数	4	1	3	2	10
		障害種別の %	40.0%	10.0%	30.0%	20.0%	100.0%
	知的障害	度数	13	3	2	1	19
		障害種別の %	68.4%	15.8%	10.5%	5.3%	100.0%
	精神障害	度数	9	3	2	0	14
		障害種別の %	64.3%	21.4%	14.3%	0.0%	100.0%
合計		度数	26	7	7	3	43
		障害種別の %	60.5%	16.3%	16.3%	7.0%	100.0%

(現在)

	食事に關して				合計	
	ひとりのできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている		
障害種別 身体障害	度数	4	1	2	3	10
	障害種別の%	40.0%	10.0%	20.0%	30.0%	100.0%
知的障害	度数	14	3	1	1	19
	障害種別の%	73.7%	15.8%	5.3%	5.3%	100.0%
精神障害	度数	10	0	4	0	14
	障害種別の%	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%	100.0%
合計	度数	28	4	7	4	43
	障害種別の%	65.1%	9.3%	16.3%	9.3%	100.0%

③ 入浴に關して

相談支援事業利用開始時では、精神障害のある利用者は他の障害のある利用者比べてひとりできるとされる傾向にあり、身体障害のある利用者は全部やってもらっているとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 4 2 入浴に關して

(相談支援事業利用開始時)

	入浴に關して				合計	
	ひとりのできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている		
障害種別 身体障害	度数	4	1	0	5	10
	障害種別の%	40.0%	10.0%	0.0%	50.0%	100.0%
知的障害	度数	9	7	2	1	19
	障害種別の%	47.4%	36.8%	10.5%	5.3%	100.0%
精神障害	度数	12	2	0	0	14
	障害種別の%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	25	10	2	6	43
	障害種別の%	58.1%	23.3%	4.7%	14.0%	100.0%

(現在)

	入浴に關して				合計	
	ひとりのできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている		
障害種別 身体障害	度数	3	2	0	5	10
	障害種別の%	30.0%	20.0%	0.0%	50.0%	100.0%
知的障害	度数	10	6	2	1	19
	障害種別の%	52.6%	31.6%	10.5%	5.3%	100.0%
精神障害	度数	13	1	0	0	14
	障害種別の%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	26	9	2	6	43
	障害種別の%	60.5%	20.9%	4.7%	14.0%	100.0%

#### ④ 排泄に関して

相談支援事業利用開始時では、精神障害のある利用者は他の障害のある利用者比べてひとりでできるとされる傾向にあり、身体障害のある利用者は全部やってもらっているとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 4 3 排泄に関して  
(相談支援事業利用開始時)

障害種別		度数	排泄に関して				合計
			ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている	
身体障害	度数	5	0	2	3	10	
	障害種別の%	50.0%	0.0%	20.0%	30.0%	100.0%	
知的障害	度数	15	2	2	0	19	
	障害種別の%	78.9%	10.5%	10.5%	0.0%	100.0%	
精神障害	度数	13	1	0	0	14	
	障害種別の%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	度数	33	3	4	3	43	
	障害種別の%	76.7%	7.0%	9.3%	7.0%	100.0%	

(現在)

障害種別		度数	排泄に関して				合計
			ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている	
身体障害	度数	5	0	2	3	10	
	障害種別の%	50.0%	0.0%	20.0%	30.0%	100.0%	
知的障害	度数	15	2	2	0	19	
	障害種別の%	78.9%	10.5%	10.5%	0.0%	100.0%	
精神障害	度数	13	1	0	0	14	
	障害種別の%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	度数	33	3	4	3	43	
	障害種別の%	76.7%	7.0%	9.3%	7.0%	100.0%	

#### ⑤ 家事に関して

相談支援事業利用開始時では、精神障害のある利用者は他の障害のある利用者比べてひとりでできるとされる傾向にあり、身体障害のある利用者は全部やってもらっているとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 4 4 家事に関して  
(相談支援事業利用開始時)

		家事に関して				合計	
		ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている		
障害種別	身体障害	度数	2	0	1	7	10
		障害種別の%	20.0%	0.0%	10.0%	70.0%	100.0%
	知的障害	度数	1	3	5	10	19
		障害種別の%	5.3%	15.8%	26.3%	52.6%	100.0%
	精神障害	度数	4	4	3	3	14
		障害種別の%	28.6%	28.6%	21.4%	21.4%	100.0%
合計		度数	7	7	9	20	43
		障害種別の%	16.3%	16.3%	20.9%	46.5%	100.0%

(現在)

		家事に関して				合計	
		ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている		
障害種別	身体障害	度数	2	0	1	7	10
		障害種別の%	20.0%	0.0%	10.0%	70.0%	100.0%
	知的障害	度数	1	3	8	7	19
		障害種別の%	5.3%	15.8%	42.1%	36.8%	100.0%
	精神障害	度数	3	7	3	1	14
		障害種別の%	21.4%	50.0%	21.4%	7.1%	100.0%
合計		度数	6	10	12	15	43
		障害種別の%	14.0%	23.3%	27.9%	34.9%	100.0%

## 2) 心理・精神面

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の心理・精神面について、障害種別で見たと  
ころ、相談支援事業利用開始時では精神障害のある利用者があまり良い状態ではなかった。  
一方、現在では障害種別を問わず全体的に改善がみられる傾向にあった。

### ① 生きがい・希望・好きなこと

相談支援事業利用開始時では、知的障害のある利用者は他の障害のある利用者比べて  
少ないがあるとされる傾向にあり、精神障害のある利用者はほとんどないとされる傾向に  
あった。一方、現在では障害種別を問わず全体的に改善が見られる傾向にあった。

表 4 5 生きがい・希望・好きなこと  
(相談支援事業利用開始時)

			生きがい・希望・好きなこと				合計
			多くある	少ないがある	ほとんどない	ない	
障害種別	身体障害	度数	2	5	2	1	10
		障害種別の%	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	0	16	3	0	19
		障害種別の%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	100.0%
	精神障害	度数	3	4	6	1	14
		障害種別の%	21.4%	28.6%	42.9%	7.1%	100.0%
合計		度数	5	25	11	2	43
		障害種別の%	11.6%	58.1%	25.6%	4.7%	100.0%

(現在)

			生きがい・希望・好きなこと			合計
			多くある	少ないがある	ほとんどない	
障害種別	身体障害	度数	3	6	1	10
		障害種別の%	30.0%	60.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	3	15	1	19
		障害種別の%	15.8%	78.9%	5.3%	100.0%
	精神障害	度数	4	9	1	14
		障害種別の%	28.6%	64.3%	7.1%	100.0%
合計		度数	10	30	3	43
		障害種別の%	23.3%	69.8%	7.0%	100.0%

② 精神面の安定

相談支援事業利用開始時では、身体障害のある利用者は他の障害のある利用者比べて非常に安定しているとされる傾向にあり、精神障害のある利用者は安定していないとされる傾向にあった。一方、現在では障害種別を問わず全体的に改善が見られる傾向にあった。

表 4 6 精神面の安定  
(相談支援事業利用開始時)

			精神面の安定				合計
			非常に安定している	少し安定している	あまり安定していない	安定していない	
障害種別	身体障害	度数	3	3	4	0	10
		障害種別の%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	100.0%
	知的障害	度数	1	4	9	5	19
		障害種別の%	5.3%	21.1%	47.4%	26.3%	100.0%
	精神障害	度数	0	4	4	6	14
		障害種別の%	0.0%	28.6%	28.6%	42.9%	100.0%
合計		度数	4	11	17	11	43
		障害種別の%	9.3%	25.6%	39.5%	25.6%	100.0%

(現在)

			精神面の安定				合計
			非常に安定している	少し安定している	あまり安定していない	安定していない	
障害種別	身体障害	度数	3	5	2	0	10
		障害種別の%	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	知的障害	度数	2	14	2	1	19
		障害種別の%	10.5%	73.7%	10.5%	5.3%	100.0%
	精神障害	度数	0	12	2	0	14
		障害種別の%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%	100.0%
合計		度数	5	31	6	1	43
		障害種別の%	11.6%	72.1%	14.0%	2.3%	100.0%

### 3) 周囲との関係面

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の周囲との関係面について、障害種別で見たところ、相談支援事業利用開始時では精神障害のある利用者はあまり良い状態ではなかった。一方、現在では障害種別を問わず全体的に改善がみられる傾向にあった。

#### ① 日中活動での人間関係

相談支援事業利用開始時では、身体障害のある利用者は他の障害のある利用者比べて多いとされる傾向にあり、精神障害のある利用者はないとされる傾向にあった。一方、現在では障害種別を問わず全体的に改善が見られる傾向にあった。

表 4 7 日中活動での人間関係  
(相談支援事業利用開始時)

			日中活動での人間関係				合計
			多い	少ない	ほとんどいない	ない	
障害種別	身体障害	度数	3	2	3	2	10
		障害種別の%	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	100.0%
	知的障害	度数	3	3	9	4	19
		障害種別の%	15.8%	15.8%	47.4%	21.1%	100.0%
	精神障害	度数	3	1	5	5	14
		障害種別の%	21.4%	7.1%	35.7%	35.7%	100.0%
合計		度数	9	6	17	11	43
		障害種別の%	20.9%	14.0%	39.5%	25.6%	100.0%

(現在)

			日中活動での人間関係				合計
			多い	少ない	ほとんどいない	ない	
障害種別	身体障害	度数	4	4	1	1	10
		障害種別の%	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	6	9	2	2	19
		障害種別の%	31.6%	47.4%	10.5%	10.5%	100.0%
	精神障害	度数	4	6	3	1	14
		障害種別の%	28.6%	42.9%	21.4%	7.1%	100.0%
合計		度数	14	19	6	4	43
		障害種別の%	32.6%	44.2%	14.0%	9.3%	100.0%

② 支援する人の存在

相談支援事業利用開始時では、身体障害のある利用者は他の障害のある利用者比べて少ないがいとされる傾向にあり、精神障害のある利用者はいないとされる傾向にあった。一方、現在では障害種別を問わず全体的に改善が見られる傾向にあった。

表48 支援する人の存在  
(相談支援事業利用開始時)

			支援する人の存在				合計
			多くいる	少ないがいる	ほとんどいない	いない	
障害種別	身体障害	度数	1	6	2	1	10
		障害種別の%	10.0%	60.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	2	5	11	1	19
		障害種別の%	10.5%	26.3%	57.9%	5.3%	100.0%
	精神障害	度数	1	4	5	4	14
		障害種別の%	7.1%	28.6%	35.7%	28.6%	100.0%
合計		度数	4	15	18	6	43
		障害種別の%	9.3%	34.9%	41.9%	14.0%	100.0%

(現在)

			支援する人の存在			合計
			多くいる	少ないがいる	ほとんどいない	
障害種別	身体障害	度数	3	6	1	10
		障害種別の%	30.0%	60.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	9	8	2	19
		障害種別の%	47.4%	42.1%	10.5%	100.0%
	精神障害	度数	6	8	0	14
		障害種別の%	42.9%	57.1%	0.0%	100.0%
合計		度数	18	22	3	43
		障害種別の%	41.9%	51.2%	7.0%	100.0%

### ③ 家族関係

相談支援事業利用開始時では、精神障害のある人は他の障害のある利用者比べて強い関係があるとされる傾向にあり、知的障害のある利用者はないとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 4 9 家族関係

(相談支援事業利用開始時)

			家族関係				合計
			強い関係がある	弱い関係がある	ほとんど関係がない	ない	
障害種別	身体障害	度数	6	1	2	1	10
		障害種別の%	60.0%	10.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	10	5	1	3	19
		障害種別の%	52.6%	26.3%	5.3%	15.8%	100.0%
	精神障害	度数	11	2	1	0	14
		障害種別の%	78.6%	14.3%	7.1%	0.0%	100.0%
合計		度数	27	8	4	4	43
		障害種別の%	62.8%	18.6%	9.3%	9.3%	100.0%

(現在)

			家族関係				合計
			強い関係がある	弱い関係がある	ほとんど関係がない	ない	
障害種別	身体障害	度数	6	1	2	1	10
		障害種別の%	60.0%	10.0%	20.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	9	6	2	2	19
		障害種別の%	47.4%	31.6%	10.5%	10.5%	100.0%
	精神障害	度数	11	2	1	0	14
		障害種別の%	78.6%	14.3%	7.1%	0.0%	100.0%
合計		度数	26	9	5	3	43
		障害種別の%	60.5%	20.9%	11.6%	7.0%	100.0%

### 4) 健康管理

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の健康管理について、障害種別で見たところ、相談支援事業利用開始時では身体障害のある利用者がひとりできるとされる傾向にあった。一方、現在では知的障害のある利用者と精神障害のある利用者について改善がみられる傾向にあった。

#### ① 健康管理

相談支援事業利用開始時では、身体障害のある利用者は他の障害のある利用者比べてひとりできるとされる傾向にあり、知的障害のある利用者は少し手伝ってもらえばできるとされる傾向にあった。一方、現在では知的障害がある人と精神障害がある利用者につ

いて改善が見られる傾向にあった。

表 5 0 健康管理  
(相談支援事業利用開始時)

障害種別	身体障害	度数	健康管理				合計
			ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やっってもらっている	
		4	3	1	2	10	
		障害種別の%	40.0%	30.0%	10.0%	20.0%	100.0%
	知的障害	1	7	8	3	19	
		障害種別の%	5.3%	36.8%	42.1%	15.8%	100.0%
	精神障害	4	3	4	3	14	
		障害種別の%	28.6%	21.4%	28.6%	21.4%	100.0%
合計		9	13	13	8	43	
		障害種別の%	20.9%	30.2%	30.2%	18.6%	100.0%

(現在)

障害種別	身体障害	度数	健康管理				合計
			ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やっってもらっている	
		4	2	2	2	10	
		障害種別の%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%
	知的障害	1	10	6	2	19	
		障害種別の%	5.3%	52.6%	31.6%	10.5%	100.0%
	精神障害	4	7	3	0	14	
		障害種別の%	28.6%	50.0%	21.4%	0.0%	100.0%
合計		9	19	11	4	43	
		障害種別の%	20.9%	44.2%	25.6%	9.3%	100.0%

## 5) 経済生活・経済環境

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の経済生活・経済環境について、障害種別で見たところ、相談支援事業利用開始時では身体障害のある利用者や精神障害のある利用者は他の障害のある利用者比べてひとりでできるとされる傾向にあり、知的障害のある利用者は全部やっってもらっているとされる傾向にあった。一方、現在では知的障害がある利用者について改善が見られる傾向にあった。

### ① 金銭管理

相談支援事業利用開始時では、身体障害のある利用者や精神障害のある利用者は他の障害のある利用者比べてひとりでできるとされる傾向にあり、知的障害のある利用者は全部やっってもらっているとされる傾向にあった。一方、現在では知的障害がある利用者について改善が見られる傾向にあった。

表 5 1 金銭管理

(相談支援事業利用開始時)

		金銭管理				合計	
		ひとりできる	見守り・指示 があればできる	少し手伝って もらえばできる	全部やっても らっている		
障害種別	身体障害	度数	5	1	2	2	10
		障害種別の %	50.0%	10.0%	20.0%	20.0%	100.0%
	知的障害	度数	0	4	6	9	19
		障害種別の %	0.0%	21.1%	31.6%	47.4%	100.0%
	精神障害	度数	6	4	2	2	14
		障害種別の %	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	100.0%
合計		度数	11	9	10	13	43
		障害種別の %	25.6%	20.9%	23.3%	30.2%	100.0%

(現在)

		金銭管理				合計	
		ひとりできる	見守り・指示 があればできる	少し手伝って もらえばできる	全部やっても らっている		
障害種別	身体障害	度数	5	0	4	1	10
		障害種別の %	50.0%	0.0%	40.0%	10.0%	100.0%
	知的障害	度数	0	5	8	6	19
		障害種別の %	0.0%	26.3%	42.1%	31.6%	100.0%
	精神障害	度数	7	4	2	1	14
		障害種別の %	50.0%	28.6%	14.3%	7.1%	100.0%
合計		度数	12	9	14	8	43
		障害種別の %	27.9%	20.9%	32.6%	18.6%	100.0%

## 6) 移動

相談支援事業利用開始時と現在との利用者の移動について、障害種別で見たところ、相談支援事業利用開始時では身体障害のある利用者や精神障害のある利用者は他の障害のある利用者に比べてひとりできるとされる傾向にあり、知的障害のある利用者は少し支援が必要とされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

### ①移動・交通機関の利用

相談支援事業利用開始時では、身体障害のある利用者や精神障害のある利用者は他の障害のある利用者に比べてひとりできるとされる傾向にあり、知的障害のある利用者は少し手伝ってもらえばできるとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 5 2 移動・交通機関の利用  
(相談支援事業利用開始時)

	移動・交通機関の利用				合計	
	ひとりのできる	見守り・指示 があればできる	少し手伝って もらえばできる	全部やっても らっている		
障害種別 身体障害	度数	5	1	2	2	10
	障害種別の%	50.0%	10.0%	20.0%	20.0%	100.0%
知的障害	度数	5	4	8	2	19
	障害種別の%	26.3%	21.1%	42.1%	10.5%	100.0%
精神障害	度数	9	1	2	2	14
	障害種別の%	64.3%	7.1%	14.3%	14.3%	100.0%
合計	度数	19	6	12	6	43
	障害種別の%	44.2%	14.0%	27.9%	14.0%	100.0%

(現在)

	移動・交通機関の利用				合計	
	ひとりのできる	見守り・指示 があればできる	少し手伝って もらえばできる	全部やっても らっている		
障害種別 身体障害	度数	3	2	3	2	10
	障害種別の%	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	100.0%
知的障害	度数	6	4	7	2	19
	障害種別の%	31.6%	21.1%	36.8%	10.5%	100.0%
精神障害	度数	9	2	3	0	14
	障害種別の%	64.3%	14.3%	21.4%	0.0%	100.0%
合計	度数	18	8	13	4	43
	障害種別の%	41.9%	18.6%	30.2%	9.3%	100.0%

## ②住宅内の移動

相談支援事業利用開始時では、知的障害のある利用者は他の障害のある利用者比べて見守り・指示があればできるとされる傾向にあった。また、このような傾向には現在でも大きな違いは見られなかった。

表 5 3 住宅内の移動  
(相談支援事業利用開始時)

	住宅内の移動				合計	
	ひとりのできる	見守り・指示 があればできる	少し手伝って もらえばできる	全部やっても らっている		
障害種別 身体障害	度数	8	0	1	1	10
	障害種別の%	80.0%	0.0%	10.0%	10.0%	100.0%
知的障害	度数	15	4	0	0	19
	障害種別の%	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%	100.0%
精神障害	度数	13	1	0	0	14
	障害種別の%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	36	5	1	1	43
	障害種別の%	83.7%	11.6%	2.3%	2.3%	100.0%

(現在)

障害種別		住宅内の移動				合計
		ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	全部やってもらっている	
身体障害	度数	7	1	1	1	10
	障害種別の%	70.0%	10.0%	10.0%	10.0%	100.0%
知的障害	度数	15	4	0	0	19
	障害種別の%	78.9%	21.1%	0.0%	0.0%	100.0%
精神障害	度数	14	0	0	0	14
	障害種別の%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	36	5	1	1	43
	障害種別の%	83.7%	11.6%	2.3%	2.3%	100.0%

## 7) 全体の生活から見た自立度

### ①自立した生活

相談支援事業利用開始時では、精神障害のある利用者は他の障害のある利用者に比べてひとりでできるとされる傾向にある一方できないとされる傾向にあり、知的障害のある利用者は少し手伝ってもらえればできるとされる傾向にある一方できないとされる傾向にあった。一方、現在では障害種別を問わず全体的に改善が見られる傾向にあった。

表5 4 自立した生活

(相談支援事業利用開始時)

障害種別		自立した生活				合計
		ひとりでできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	できない	
身体障害	度数	1	2	7	0	10
	障害種別の%	10.0%	20.0%	70.0%	0.0%	100.0%
知的障害	度数	0	0	13	6	19
	障害種別の%	0.0%	0.0%	68.4%	31.6%	100.0%
精神障害	度数	4	1	4	5	14
	障害種別の%	28.6%	7.1%	28.6%	35.7%	100.0%
合計	度数	5	3	24	11	43
	障害種別の%	11.6%	7.0%	55.8%	25.6%	100.0%

(現在)

	自立した生活				合計	
	ひとりできる	見守り・指示があればできる	少し手伝ってもらえばできる	できない		
障害種別 身体障害	度数	1	3	6	0	10
	障害種別の%	10.0%	30.0%	60.0%	0.0%	100.0%
知的障害	度数	0	4	14	1	19
	障害種別の%	0.0%	21.1%	73.7%	5.3%	100.0%
精神障害	度数	4	7	3	0	14
	障害種別の%	28.6%	50.0%	21.4%	0.0%	100.0%
合計	度数	5	14	23	1	43
	障害種別の%	11.6%	32.6%	53.5%	2.3%	100.0%

(5) 対象利用者の状態の変化

相談支援事業利用開始時と現在との対象利用者の状態を比較するために、対応のある t 検定を行った。その際、自立度の高い順に 4 点から 1 点を割り振り分析を行った。その結果、生きがい・希望・好きなこと、精神面の安定といった心理精神面、日中活動での人間関係、支援する人の存在といった周囲との関係面、金銭管理といった経済生活・経済環境、自立した生活といった全体から見た自立度において有意な改善が見られた。

表 5 5 対象利用者の状態の変化

		相談支援事業利用開始時		現在		p
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	
ADL	身辺処理に関して	2.8	1.0	2.9	1.0	0.23
	食事に関して	3.2	1.0	3.2	1.1	0.78
	入浴に関して	3.0	1.1	3.1	1.1	0.32
	排泄に関して	3.4	1.0	3.4	0.9	0.71
	家事に関して	2.0	1.1	2.1	1.0	0.07
心理・精神面	生きがい・希望・好きなこと	2.6	0.7	3.1	0.6	0.00**
	精神面の安定	2.2	0.9	2.9	0.6	0.00**
周囲との関係面	日中活動での人間関係	2.3	1.0	3.0	0.8	0.00**
	支援する人の存在	2.5	0.6	3.4	0.7	0.00**
	家族関係	3.3	1.0	3.3	1.1	1.00
健康管理	健康管理	2.5	1.1	2.6	1.0	0.13
経済生活・経済環境	金銭管理	2.2	2.2	2.4	2.2	0.00**
移動	移動・交通機関の利用	2.7	1.2	2.8	1.2	0.29
	住宅内の移動	3.6	0.8	3.6	1.0	1.00
全体の生活から見た自立度	自立した生活	2.0	0.9	2.4	0.8	0.00**

\*\*p<0.0

(6) 対象利用者が大切にしていると思われる項目

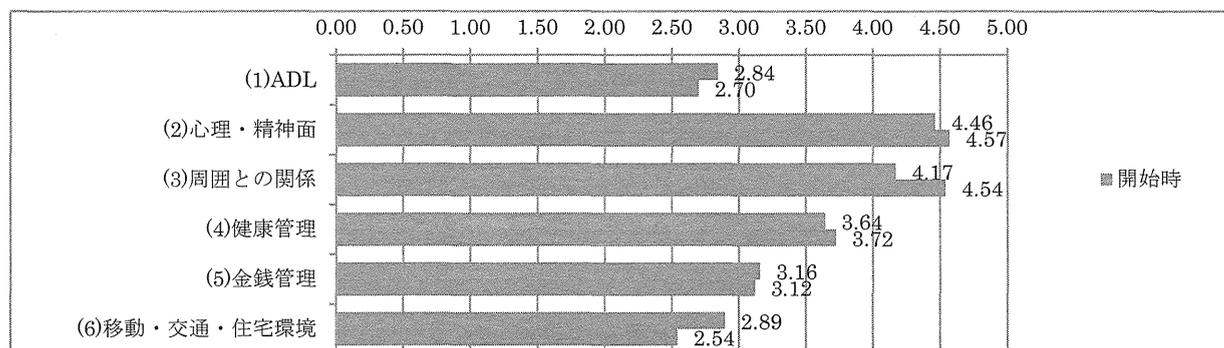
相談支援事業利用開始時と現在の利用者が大切にしていると思われる項目について、心理・精神面、周囲との関係、健康管理で改善が見られる傾向にあった。

表 5 6 対象利用者が大切にしていると思われる項目

	開始時	現在
(1)ADL	2.84	2.70
(2)心理・精神面	4.46	4.57
(3)周囲との関係	4.17	4.54
(4)健康管理	3.64	3.72
(5)金銭管理	3.16	3.12
(6)移動・交通・住宅環境	2.89	2.54

※ 1位を6ポイント、2位を5ポイント、3位を4ポイント、4位を3ポイント、5位を2ポイント、6位を1ポイントにした平均値

図 4 0 対象利用者が大切にしていると思われる項目



1) ADL

相談支援事業利用開始時、現在ともに対象利用者が大切にしていると思われる割合は高くなかった。

表 5 7 ADL

(相談支援事業利用開始時)

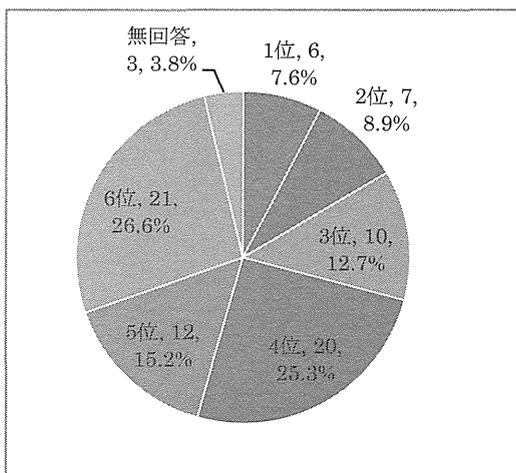
	度数	パーセント
1位	6	7.6
2位	7	8.9
3位	10	12.7
4位	20	25.3
5位	12	15.2
6位	21	26.6
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

(現在)

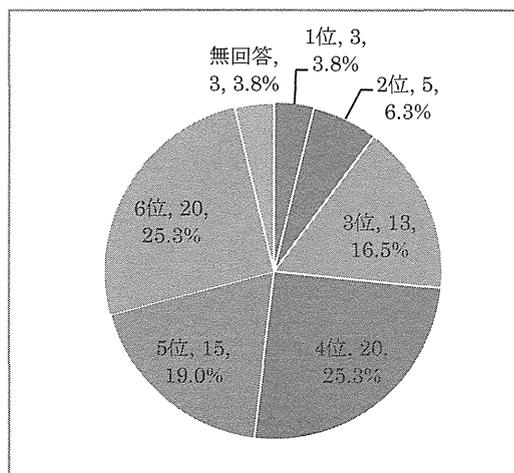
	度数	パーセント
1位	3	3.8
2位	5	6.3
3位	13	16.5
4位	20	25.3
5位	15	19.0
6位	20	25.3
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

図 4 1 ADL

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



2) 心理・精神面

相談支援事業利用開始時、現在ともに対象利用者が大切にしていると思われる度合いは高かった。

表 5 8 心理・精神面

(相談支援事業利用開始時)

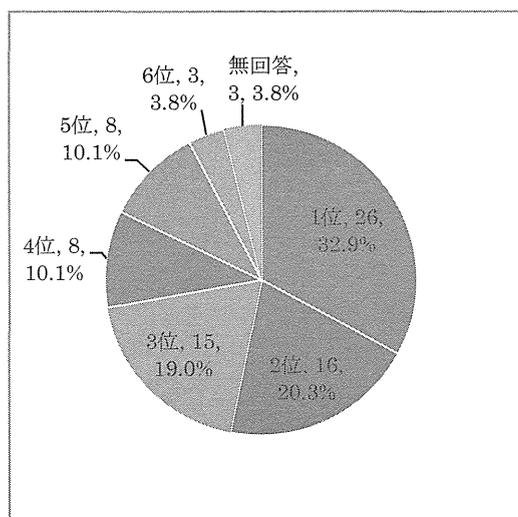
	度数	パーセント
1位	26	32.9
2位	16	20.3
3位	15	19.0
4位	8	10.1
5位	8	10.1
6位	3	3.8
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

(現在)

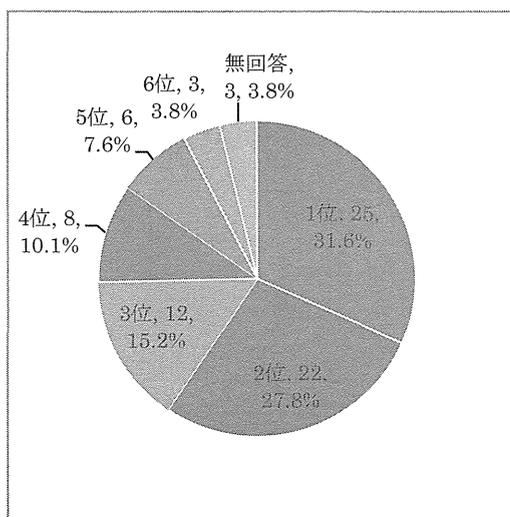
	度数	パーセント
1位	25	31.6
2位	22	27.8
3位	12	15.2
4位	8	10.1
5位	6	7.6
6位	3	3.8
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

図4 2 心理・精神面

(相談支援事業利用開始時)



(現在)



### 3) 周囲との関係面

相談支援事業利用開始時、現在ともに対象利用者が大切にしていると思われる度合いは高かった。

表5 9 周囲との関係面

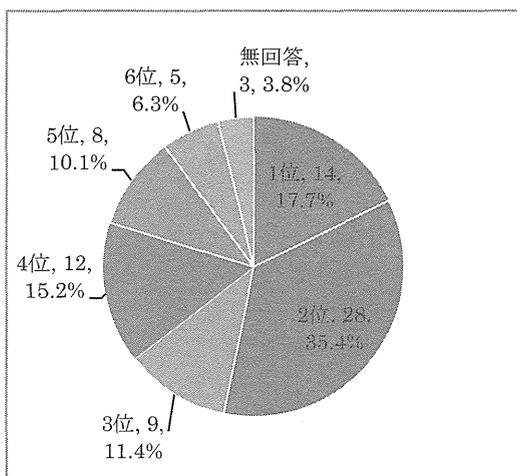
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
1位	14	17.7
2位	28	35.4
3位	9	11.4
4位	12	15.2
5位	8	10.1
6位	5	6.3
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

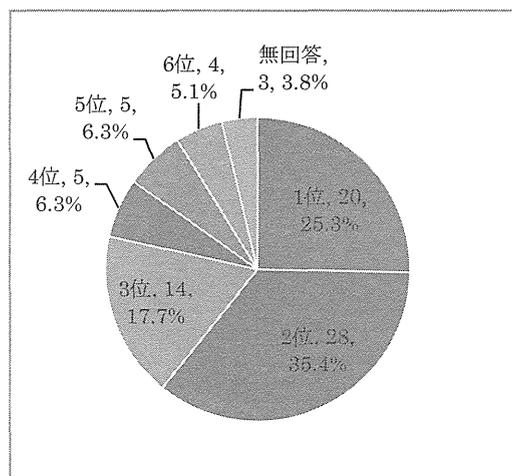
(現在)

	度数	パーセント
1位	20	25.3
2位	28	35.4
3位	14	17.7
4位	5	6.3
5位	5	6.3
6位	4	5.1
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

図 4 3 周囲との関係面  
(相談支援事業利用開始時)



(現在)



#### 4) 健康管理

相談支援事業利用開始時、現在ともに対象利用者が大切にしていると思われる度合いは高くもなく低くもなかった。

表 6 0 健康管理  
(相談支援事業利用開始時)

	度数	パーセント
1位	11	13.9
2位	13	16.5
3位	15	19.0
4位	17	21.5
5位	15	19.0
6位	5	6.3
無回答	3	3.8
合計	79	100.0

(現在)

	度数	パーセント
1位	16	20.3
2位	6	7.6
3位	18	22.8
4位	17	21.5
5位	15	19.0
6位	4	5.1
無回答	3	3.8
合計	79	100.0